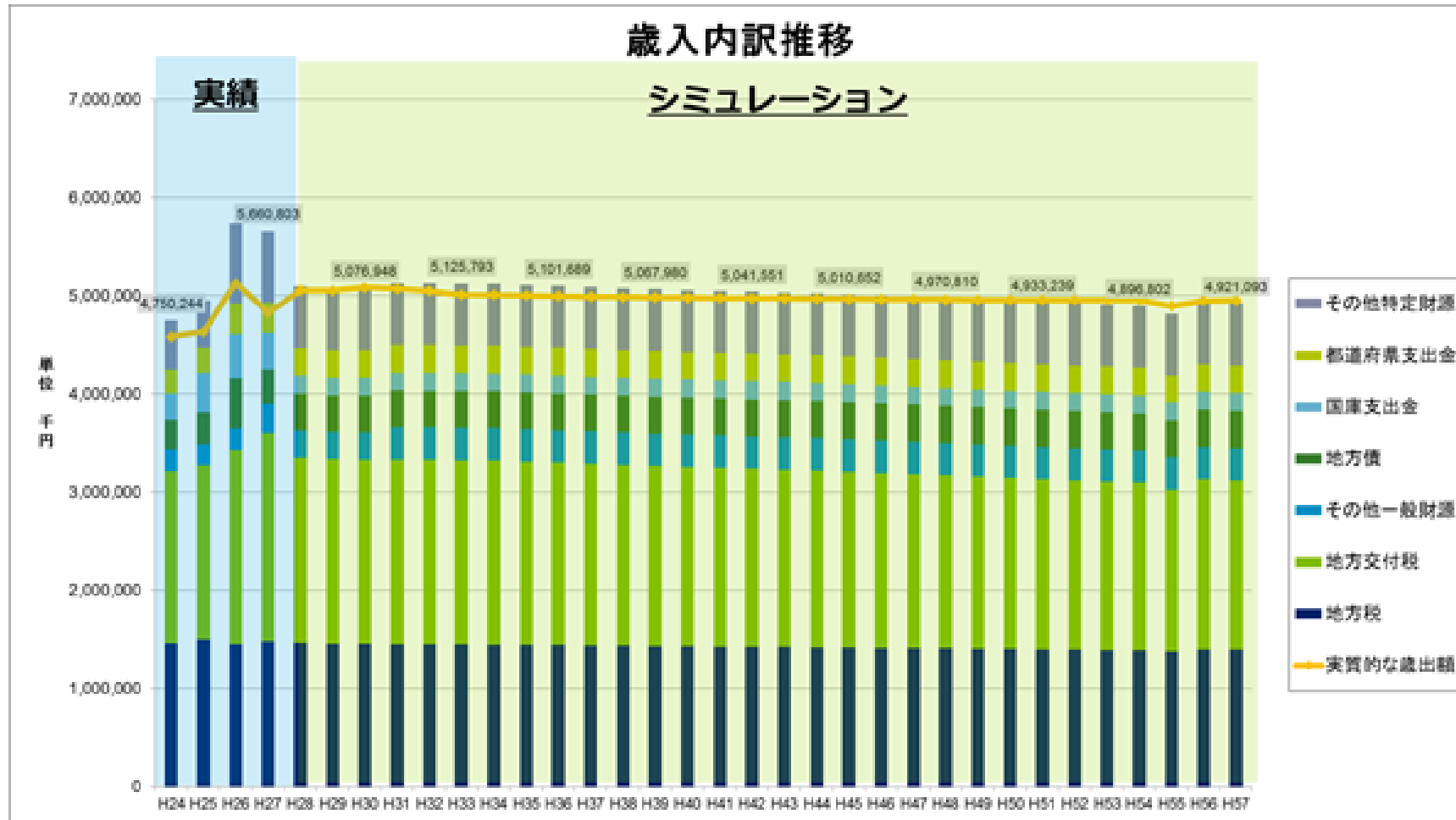


白馬村財政の今後の見通し

白馬村財政の今後の見通し

財政シミュレーション（歳入）

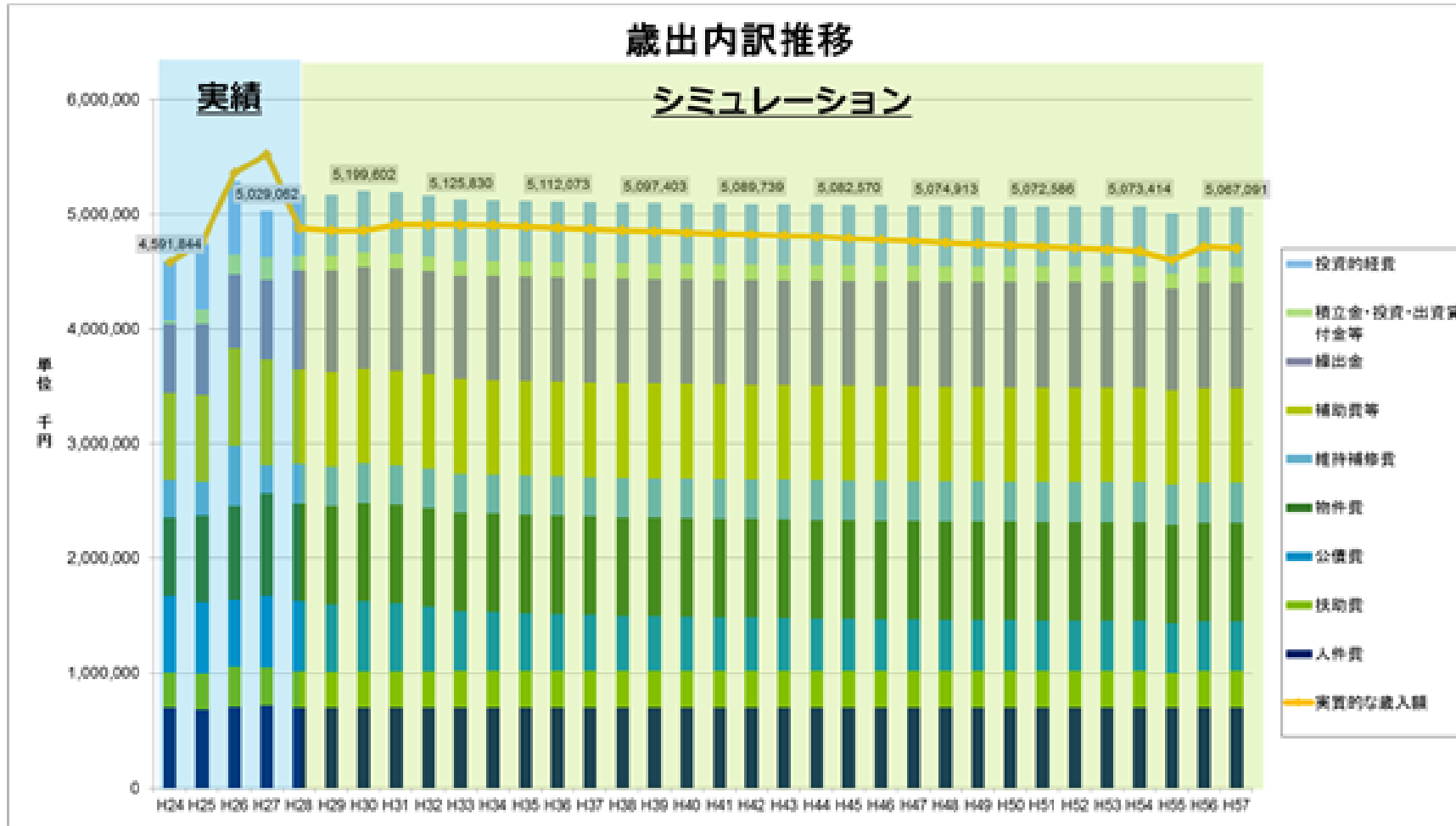
- 歳入は人口減少に伴う地方交付税減少の影響等により、今後も減少が見込まれる。



白馬村財政の今後の見通し

財政シミュレーション（歳出）

- 歳出は公共施設等の更新等や投資の際に発行する村債の返済などの影響等により歳入の減少幅を下回ることが予想される。

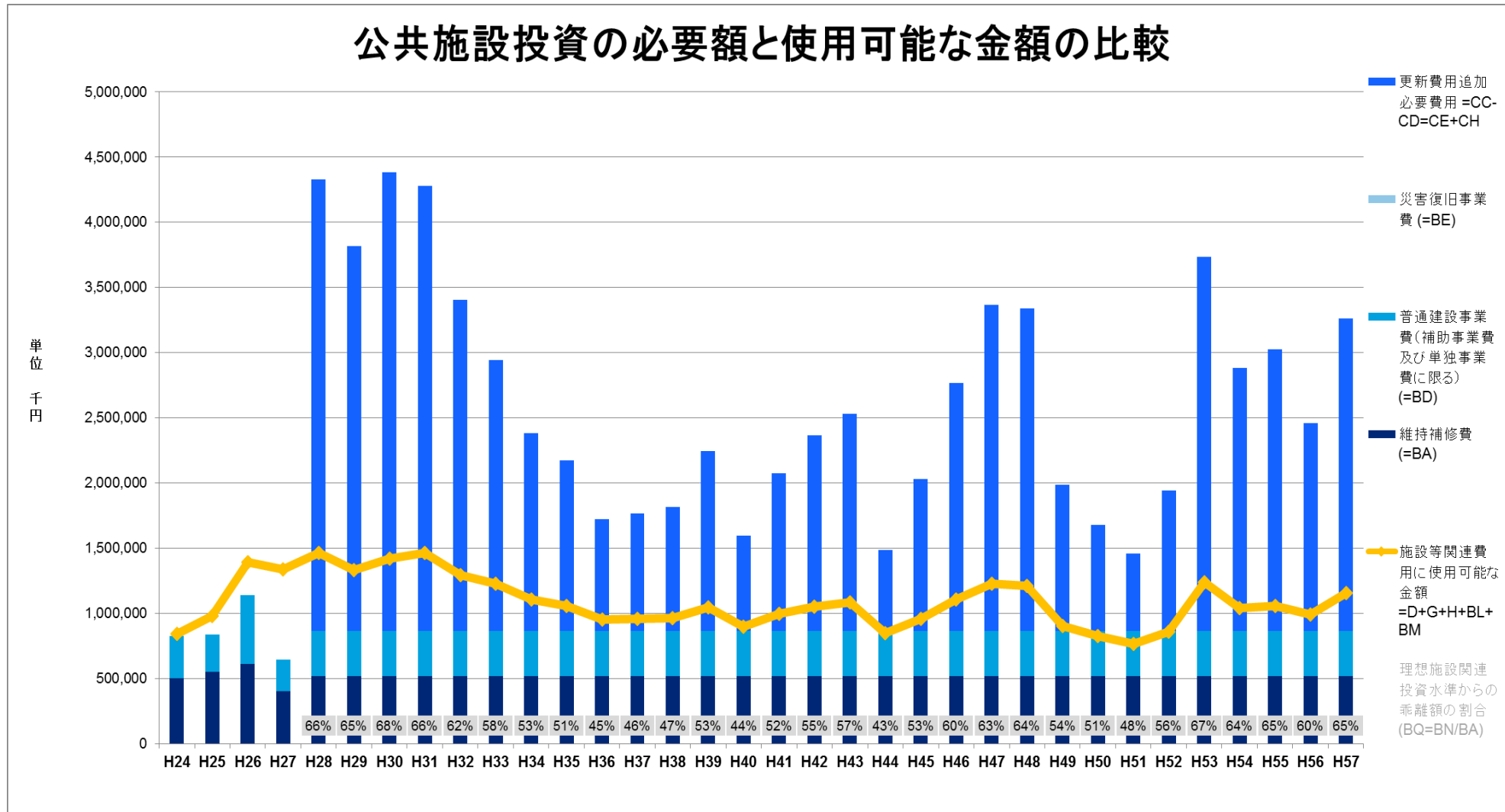


- 収支差額がマイナス（歳出を歳入で賄えなくなる）となり、今後30年間で約54.7億円（1.8億円/年）の財源不足が見込まれる。

白馬村財政の今後の見通し

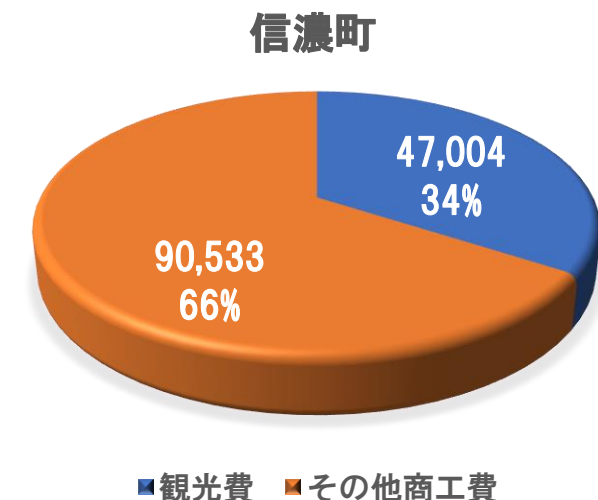
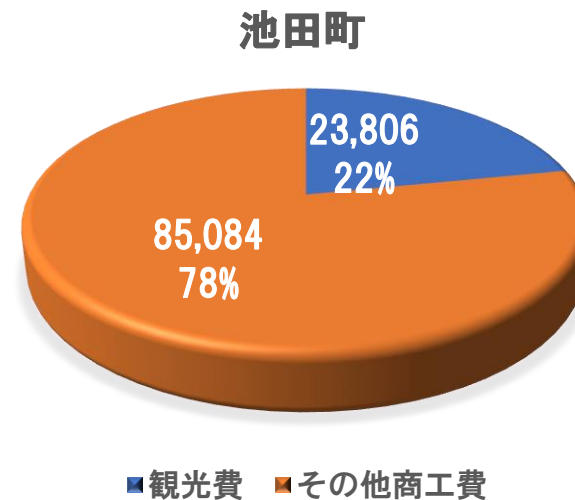
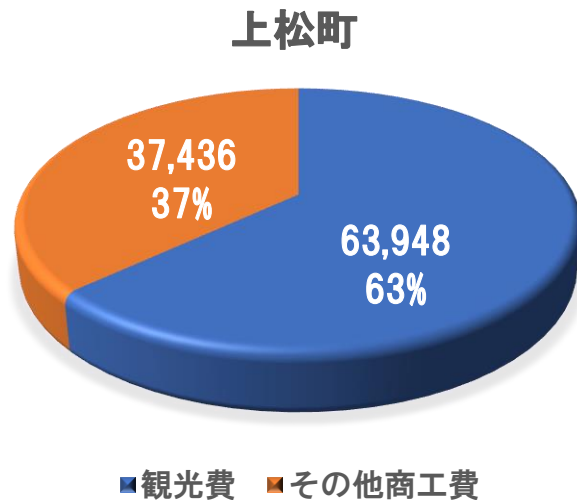
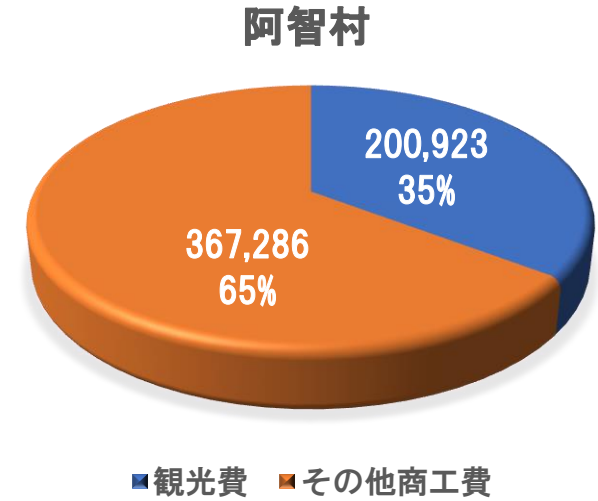
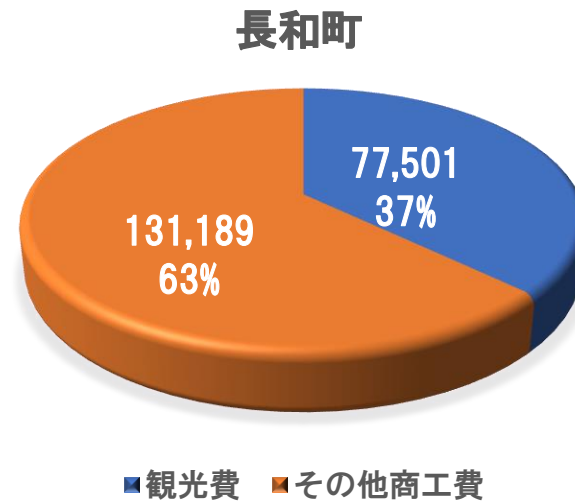
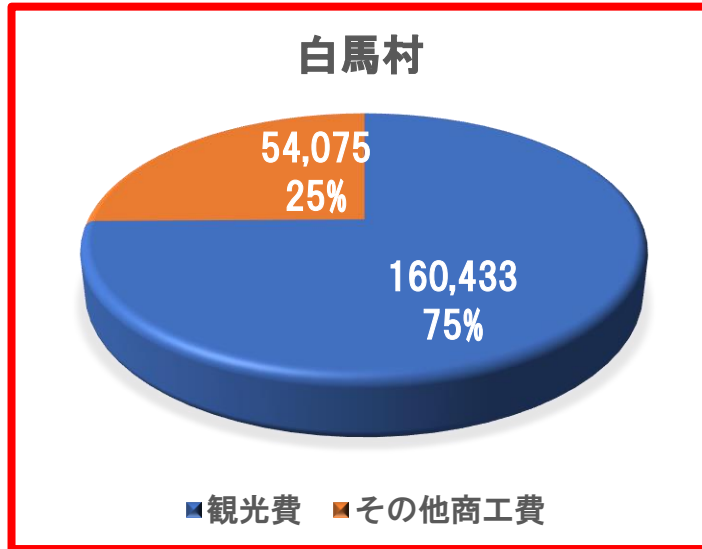
今後の公共施設等の維持・更新費用

- (前頁の財源不足に加え) 現状の公共施設等を全て維持・更新する場合、公共施設投資の必要額と使用可能な財源額を比較すると、今後30年間で約467億円の財源不足が見込まれる。

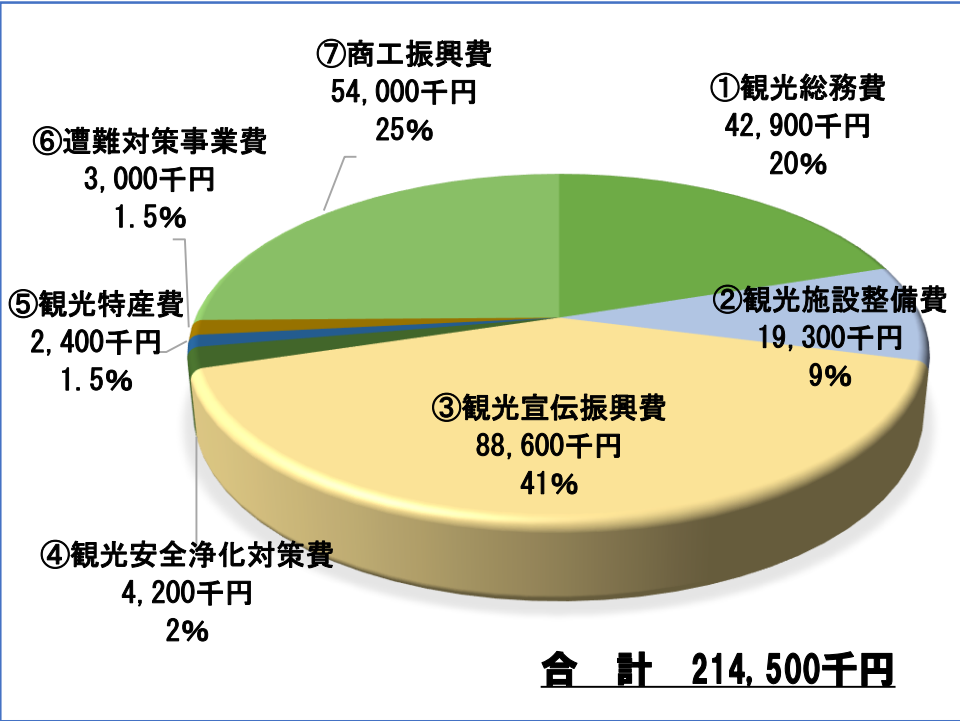


商工費の内訳①（平成25年度決算）

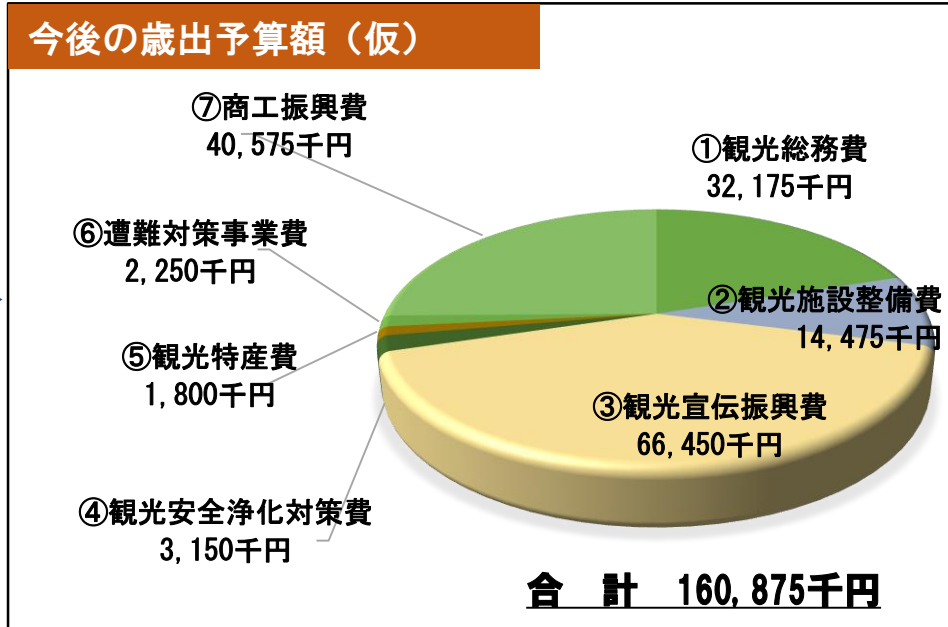
- 観光地である白馬村では、類似団体に比べて観光費の支出割合が大きくなっていることが特徴。



商工費の内訳②（平成25年度決算）



- 商工費の内訳をしてみると観光費（75%）のうち、観光宣伝振興費が41%で観光総務及び施設維持管理費で30%となっている。
- 今後の見通しでの財源不足を踏まえ、商工費の増額は難しいと考えられる。
- 施設の更新や新規事業など、観光地経営計画の経営戦略に積極的に取り組んでいくためには、新規財確保の必要性が不可欠である。



事業名	主な事業内容
①観光総務費	人件費・負担金等
②観光施設整備費	平地・山岳観光施設維持補修事業等
③観光宣伝振興費	観光振興負担金（白馬村観光局含）・サイクルツーリズム事業・地方創生交付金事業等
④観光安全浄化対策費	観光安全浄化対策事業（グリーンパトロール負担金・八方尾根安全管理協議会負担金）等
⑤観光特産費	道の駅白馬振興事業等
⑥遭難対策事業費	遭難対策事業
⑦商工振興費	商工振興事業等

仮に今後の財源不足額を「商工費」に反映させた場合の試算・・・

- ・ 今後30年間の財源不足見込額は年間約15億円である。
- ・ 今後の歳出予算額にあてはめると、年間25%の減額になる。